

<声明>

## 国連の核兵器禁止条約発効を心から歓迎する

国連の核兵器禁止条約が、いよいよ 2021 年 1 月、発効することになった。条約の発効を心から歓迎する。

1945 年 8 月のヒロシマ・ナガサキから 75 年、1955 年 7 月のラッセル・アインシュタイン宣言ならびに 1955 年 8 月の第 1 回原水爆禁止世界大会から 65 年。ようやく国際的な核兵器禁止条約ができあがることになる。ヒバクシャの願いの結晶である。

この条約で米英仏ロ中などの核兵器が廃絶されるわけではないが、世界の世論が核兵器を「絶対悪」と認定したことの意義は大きい。日本科学者会議は、1987 年 8 月以来、毎年、原水爆世界大会・科学者集会を開いて原水爆禁止を訴えてきた。2011 年のフクシマ原発事故以来は原発廃絶も同時に訴えている。

唯一の被爆国である日本は、世界の核兵器廃絶のイニシアチブを取らなければならない立場にある。それにもかかわらずいまの日本政府は核兵器禁止条約に背を向けている。「国際社会において、名誉ある地位を占めたいと思ふ」日本国民には、一刻も早く核兵器禁止条約を締結する政府を作り上げる国際的責務がある。

日本科学者会議京都支部は、今後とも、日本の、そして世界の市民と連携して核兵器を、そして原発をこの地球上から一掃するために努力することを改めてここに表明する。

2020年10月27日

日本科学者会議京都支部  
代表幹事 宗川吉汪